

平成 18 年度とやま環境チャレンジ 10 の実施結果について

富山県と(財)とやま環境財団では、地球温暖化防止に向けた県民意識啓発事業の一環として、「とやま環境チャレンジ 10 事業^{*}」を小学校、地球温暖化防止活動推進員及び市町村と連携して実施しています。

今年度は、県内**48 校**の児童**2,140 人**が参加し、地球温暖化に関する授業を受けた後、家族と協力しながら、「テレビやゲームの時間を減らす」、「冷蔵庫の無駄な開閉をしない」などの家庭での地球温暖化対策 10 項目を 10 週間取り組みました。

事後アンケートでは、とやま環境チャレンジ 10 を通じて、地球温暖化防止に対する意識が高まったという家族が 62%、また10 週間の取組みにより、習慣化した取組みがあるという家族が 59%を占め、児童とその家族の環境に配慮したライフスタイルに対する意識の高まり、生活の中での身近な取組みの定着など、一定の成果があったと考えられます。

1 参加者

48 校（別記）で 2,140 人の児童及びその家族が参加した。

2 取組み結果

実践した児童数が多かった上位 10 項目の取組みは下記のとおりであった。

なお、上位 10 項目の取組みについて、これらの取組みを選んだ児童が、10 週間、着実に実践したと仮定し、CO₂削減量を推計した。

<実践児童数上位 10 項目の取組み>

- | | |
|------------------|----------------------|
| ・テレビやゲームの時間を減らす | ・家族団らんを心掛ける |
| ・冷蔵庫の無駄な開閉をしない | ・お風呂は間隔を空けずに入る |
| ・照明器具の点灯時間を少なくする | ・シャワーを 1 回につき 1 分減らす |
| ・洗濯はまとめてする | ・アイドリングをストップする |
| ・冷房は必要ときだけつける | ・パソコンを使わない時は電源を切る |

◇ CO₂削減量：約 79 トン（スギの木 5,661 本分の吸収量に相当^{*}）

◇ 節約額：約 508 万円の節約（児童 1 人（1 世帯）当たり約 2,700 円）

※スギの木 1 本あたりの年間 CO₂吸収量は、14kg として計算

3 とやま環境チャレンジ 10 を通じた意識変化等（事後アンケート結果）

① 児童（回答数：1,916）

- ・「地球温暖化はどのような問題か分かりましたか」という質問に対しては、86%の児童が「分かった」と回答した。
- ・「これからも、地球温暖化を防ぐ取組みを続けいきますか」という質問に対しては、88%の児童が「これからも続けたい」と回答した。

② 家族（回答数：1,916）

- ・「チャレンジ 10 により、お子様やご家族の地球温暖化防止に対する意識は高まったと感じますか」という質問に対しては、62%の方が「感じる」と回答した。
- ・「チャレンジ 10 により、ご家庭で習慣化した取組みはありますか」という質問に対しては、59%の方が「ある」と回答した。

③ 学校（回答数：44）

- ・「授業やチャレンジ 10 の取組みを通じて、児童の地球温暖化等環境問題への関心は高まりましたか」という質問に対しては、95%の学校で「高まった」とし、温暖化について話題になることや関連する質問が増えた、学校でも省エネの取組みを行うようになったなどの回答があった。

(別記) 平成 18 年度とやま環境チャレンジ 10 実施小学校

【富山市】
倉垣小学校
針原小学校
水橋東部小学校
水橋中部小学校
山室中部小学校
月岡小学校
福沢小学校
神通碧小学校
音川小学校
朝日小学校
池多小学校
芝園小学校

【高岡市】
東五位小学校
横田小学校
川原小学校
二塚小学校
牧野小学校
南条小学校

【魚津市】
上中島小学校
上野方小学校
本江小学校

【氷見市】
明和小学校
女良小学校
速川小学校
朝日丘小学校

【滑川市】
田中小学校
南部小学校

【黒部市】
東布施小学校
若栗小学校
宇奈月小学校

【砺波市】
砺波東部小学校

【小矢部市】
大谷小学校
津沢小学校

【南砺市】
井波小学校
福野小学校
利賀小学校

【射水市】
放生津小学校
東明小学校
塚原小学校
小杉小学校
中太閤山小学校

【舟橋村】
舟橋小学校

【上市町】
陽南小学校
南加積小学校

【立山町】
立山小学校
日中上野小学校

【入善町】
飯野小学校

【朝日町】
さみさと小学校

※とやま環境チャレンジ 10 事業について

1 事業概要

県内の 10 歳の児童（小学校 4 年生）が、地球温暖化問題を学び、目標を決めて家族とともに家庭での対策を実践・自己評価するという一連の取組みを通じて、環境に配慮したライフスタイルへの理解を促し、家庭での取組みの定着を図る。

2 事業の流れ

- (1) 地球温暖化防止活動推進員*が、各小学校において地球温暖化防止に関する授業（環境チャレンジ教室（前編））を実施。
- (2) 授業を受けた児童が、家族と相談の上、家電の主電源をこまめに切る、水をだしっぱなしにしない等、家庭で実践する地球温暖化対策を選択し、目標を設定する。
- (3) 各児童が中心となって、家族とともに決定した取組みを原則 10 週間実践する。また、毎週 3 段階のシールを貼ることにより、自己チェックを行う。
- (4) 実施結果を取りまとめ、「チャレンジ 10 通信」として各校に送付するほか、環境チャレンジ教室（後編）を実施し、取組みの講評を行うとともに、今後の取組みの継続を促す。

※県が 66 名の方に委嘱しており、地域において地球温暖化防止に関する住民への普及啓発、調査、指導及び助言等を行う。



18 年 6 月 20 日黒部市若栗小での授業風景